

4. 職種	5. 校種	6. 職場実態をふまえた「学校の働き方改革」に関するご意見（200文字以内）	ペンネーム
教員	中学校	部活動が当たり前のように勤務時間外まで設定されていることに疑問を感じます。指導員が見つかるまでのつなぎとして、の前に適切な勤務時間にするために、人手が見つからなければ一旦無くすべき、もしくは時間をもっと減らすべきだと思う。	匿名希望
教員	中学校	労働生産性 = 成果 / 時間の考え方を教員一人一人に広め、労働生産性の低いタスクを見極め、行わない勇気をもつ。例えば「生徒の自立」を教育の目標と考える教員ならば、労働生産性 = 生徒の自立度の高まり / 教員がかける時間 となる。国際調査、TALISによると、中学校教員の課外活動の時間が、他国と比べ突出して多い。その大半を占める部活動従事は労働生産性が低い活動であると考えます。	kitokito
教員	小学校	6月に入り、職場の先生が突然倒れ、救急車で運ばれました。その先生は、様々な校務分掌をもち、受け持った学年でも毎日のように生徒指導で忙しそうでした。実数こそ分かりませんが、100時間近くの超過勤務だったとおもいます。これが今の職場です。小学校の先生は、時数に制限（1人20コマまでなど）をかけ、空き時間の確保と人数を増やすべきだと思います。	匿名希望
教員	小学校	とにかく人が足りません。勤務時間に対する業務の量が多すぎます。今の業務量で勤務時間内に到底終わることができません。学校で本当にすべき業務は何なのか全国民で考えるべきです。本来の業務ではない業務が多すぎて授業研究する時間が一番後回しにならざるを得ない実態を改善しない限り日本の明るい未来を創造することはできないと考えます。	匿名希望
教員	中学校	テストの採点や部活動の引率が負担になっている。テストの度に240人分の採点をしなければならず、その期間も土日どちらも部活の大会の引率があり、研究授業の指導案作成も重なって毎日睡眠時間を削って仕事をしています。2時間睡眠の場合もあり、このままでは仕事が続けられないと思う。	匿名希望
養護教員	小学校	課題研究論文が義務化されている市町村がある。場所によっては8ページ以内で出したい人が出したり、論文自体なくなった場所もあるが、経験年数6年以内に40ページの論文を書かなければならぬ市町村もあり、大きな負担になっている。	匿名希望
教員	中学校	在校時間はタッチパネルで把握されていますが、22時で電源が切れるよう市が設定しています。正しく勤務時間を把握する気はなく、調査で勤務時間が減少したと聞いても鼻白みます。持ち帰り時間は申請が必要ですが、その意味も感じられず、また申請する時間も勿体ないので、ほとんどの人が申請していません。	匿名希望
養護教員	高校	大会教護を看護師等に依頼するよう高体連等に働きかけてほしいです。養護教諭が中体連時に負傷し、公務災害が適用されなかったと聞きました。部顧問から教護を頼まれたら断りづらいです。しかも災害時に補償がないのはおかしいです。養護教諭は生徒の救急対応をしますが、持病やアレルギーの有無等、健康に関する情報を管理している上でのことです。休日に業務外で大会で全く知らない生徒の救護をするのはストレスが大きいです。	匿名希望
教員	小学校	定額働かせ放題と言われ、今文科省は給与上乗せの検討をされているようですが、私運はお金がほしいのではなく、自分や家族のために使える時間がほしいと考えています。そのためには教員免許を持っていない人でも職員を増やしているいろいろな仕事に対応できる人が増えたらいいのと思っています	匿名希望
教員	中学校	授業にかけられる時間が少ないです。業務が多岐に渡りすぎです。業務が多いのと初めて持つものもあることもあって忙しいです。忙しさが教員の心の余裕を奪っています。それが生徒の心にも少なからず影響を与えていると思います。	匿名希望
教員	特別支援学	働き方改革が進んでいる実感は全くなく、教員不足と多様な働き方の職員のフォローの影響で、教員一人当たりの業務量は確実に増えています。特に、昨年度から県教委から教育課程の見直しに関わって、年間指導計画の見直しなど書籍している目の前の子どもたちとは関係のない教育課程の作成などもしなければならなくなり、目の前の子どもたちのための教材研究の時間は全て後回しになっています。	匿名希望
教員	小学校	早く帰るように言われるが、結局持ち帰りの仕事が増えているだけの印象を受けます。教科専任を推し進め教材研究をする数を減らさないと実質業務は減りません。子どもや保護者から求められることも多様化しているので解決方法はまず教科専任を推し進めることと思います	匿名希望
教員	小学校	職場のパソコンで勤務時間が記録されますが、記録は簡単に書き換えられます。残業時間が45時間を超えたら、報告書を書かされるので、誰も正直に勤務時間を申告していません。なので、報道されている勤務時間の実態は、かなり少なめに報告されたデータだということを、もちろんご存知ですよ。でないと、やっつけられません。	匿名希望
教員	小学校	ここ何年かで教員の働き方改革も世間に周知され、教職員自身も意識するようになった気がする。若い人たちは比較的早く帰ろうと努力して、実際にそうしている人も増えてきたとおもう。ただ、一方で帰ったあとからかかってきた電話やわいてきた仕事は、残ったもので処理をしている実態はある。また、年齢が上になると全体に関わる仕事も増え、帰っていても仕事が終わらないと、いうこともある。仕事の量を減らすしかないと思う。	匿名希望
教員	小学校	働き方改革を進めることには賛成ですが、仕事量がそもそも変わらないのに改革をしようがない。もっと人員の確保と給与面の改善を求めます	匿名希望
教員	中学校	部活動の指導における土日の出勤が多忙感を感じさせている。書類作成のための時間が一向に減らない。	匿名希望
教員	中学校	給特法の見直しで4~10%へ引き上げと、いう考えもあるようですが、基本的な業務の削減にはつながりません。学校現場はスクラップビルドではなく、ビルドビルドが現場です。新しいことを国が打ち出すなら、古いことを破棄していくことを国をあげてやっていただきたい。	匿名希望
		忙しいです。	匿名希望
教員	小学校	自治体が働き方改革を呼びかけている今こそ、業務内容の精選を行っていくべきで勤務時間を明記していく必要があると感じる。	匿名希望
教員	小学校	増える一方の学習内容なのに、早く帰れと言われても、結局は持ち帰り仕事が増えるだけで、何の解決にもなっていない。教員養成系大学志望の高校生は多く、倍率も低くない。それなのに採用試験受験者が増えない理由を、国は本気で考えるべきだと思う。	匿名希望
事務職員	中学校	例えば、新しい機器を入れる。とか、図書館司書を入れるとか予算と人をつけないとムリだと思います。	匿名希望